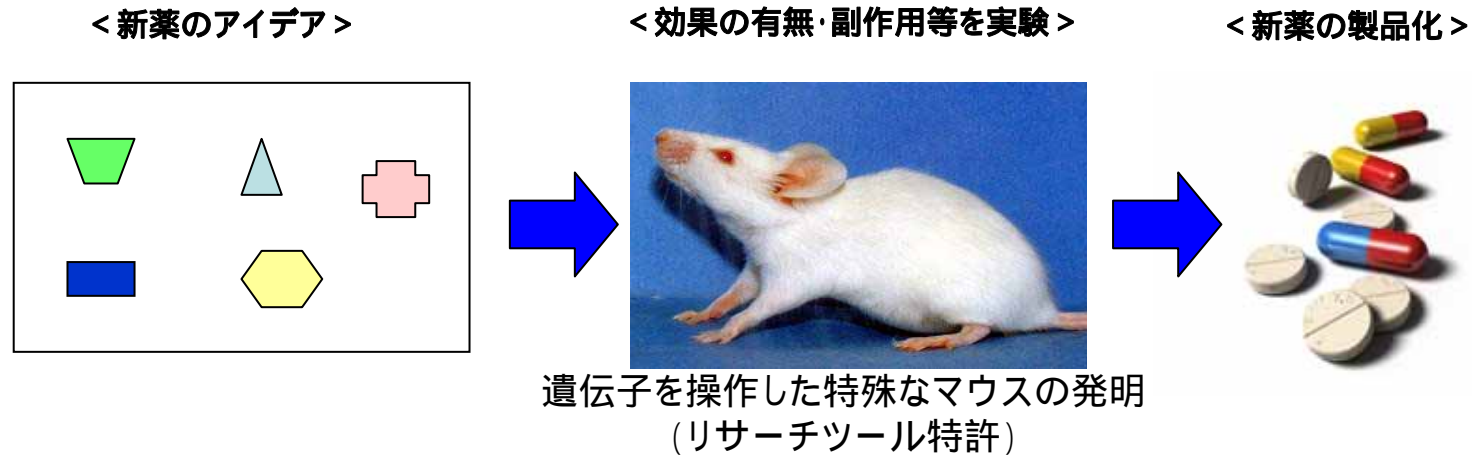


# 参考(1)

## 実験用動植物(リサーチツール)の特許情報の開示

図1. リサーチツール特許の例

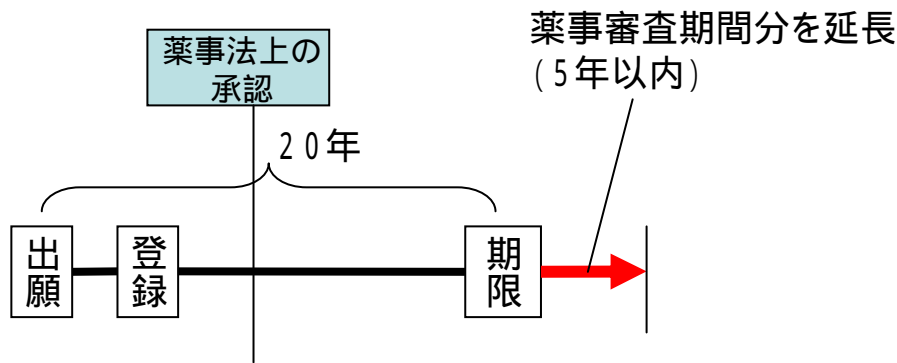


新薬のアイデア段階から、効用や副作用を確認して新薬を製品化していくためには、特別のリサーチツールを使った実験が不可欠であるが、その利用条件等が不明確であるため、ライフサイエンス分野における研究開発の推進に支障が生じるおそれ

# 参考(2)

## 特許期間延長制度の対象の見直し

図2. 特許権存続期間延長制度のイメージ



特許権存続期間の延長は、安全性確保等の観点からの許認可を得るために相当の長期間を要し、その間、実際上は特許発明の実施ができない場合における特許権者の不利益にかんがみ、認められているもの。現在、医薬品と農薬が指定されている。

図3. 遺伝子組換え生物の例(青いバラ)

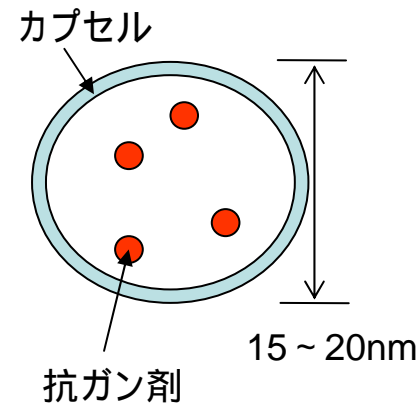


【写真提供：サントリー株式会社】

遺伝子組換え生物の使用には、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」(カルタヘナ法)に基づく承認が必要。

現在は、存続期間延長制度の対象となっていない。

図4. DDSのイメージ



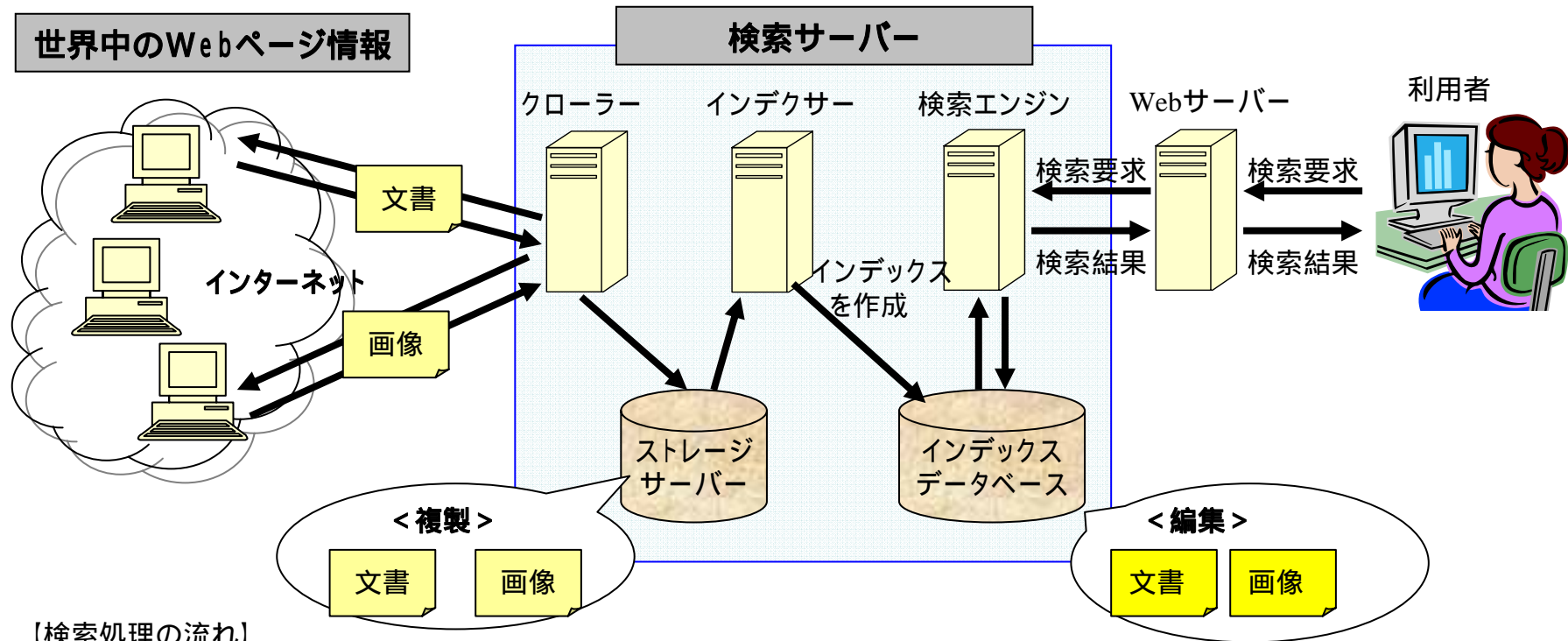
DDSは、ナノサイズのカプセル等を用いて薬品を患部に効率的に運び、患部のみを狙ってその効用を発揮させる医療技術。

有効成分や効能は従来の医薬と同一であるため、現在は、存続期間延長制度の対象とはなっていない。

# 参考(3)

## ネット検索サービスに係る著作権法上の問題の早期解消

図5. ネット検索サービスのイメージ



### 【検索処理の流れ】

クローラーがWebページ情報を収集し、ストレージサーバーに保存(複製)

収集された情報は検索しやすいようにインデクサーがインデックス化し、データベースに保存(編集)

利用者が検索ワードを入力すると、検索エンジンがデータベースに格納された情報を検索し、検索結果を送信する

Webページ情報の収集等に当たり、事前に権利者から許諾を得ることは不可能。